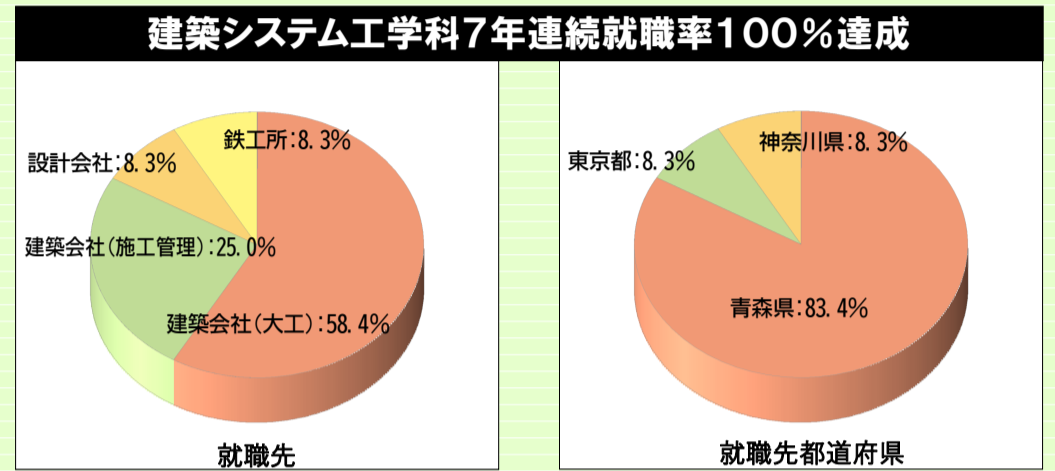
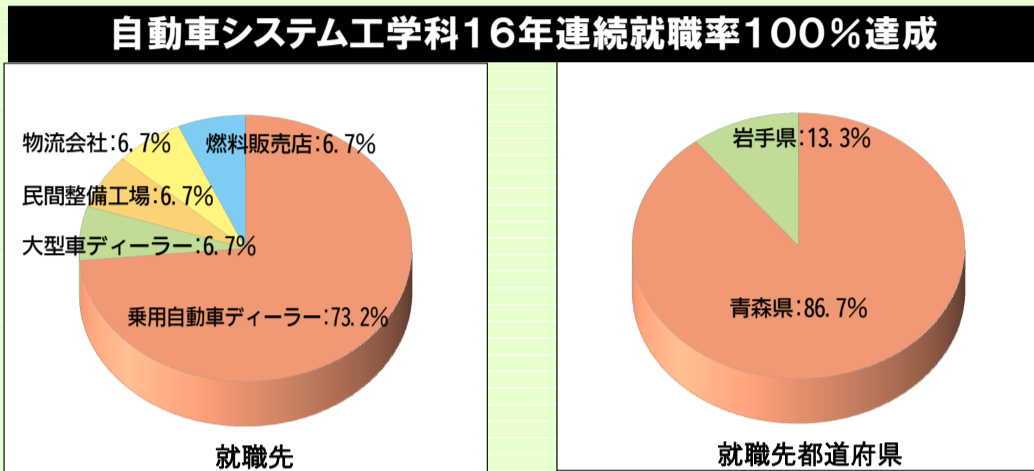


ベストを尽くして… 令和4年度修了生全員の就職が決まりました 自動車システム工学科・建築システム工学科修了生の80%以上が県内企業へ就職

令和3年度に入校した自動車システム工学科15名と建築システム工学科12名全員の就職が決まりました。自動車業界の就職活動は早く、1年生の10月から11月に5日間のインターンシップを2回行い、年明け頃には就職試験が始まります。そのため、ほとんどの学生が1年生の年度末から2年生の夏休み前までの間には就職先が決まります。また、日本の建築を支えてきた大工の人数が40年前に比べ3分の1以下になっており、特に職人の技を引き継ぐ若手が不足しています。このような状況になっているので、建築システム工学科の2年生は10月に行われた15日間のインターンシップ後に自分の希望する職種や地域で就職先が決まっています。



自分たちの夢叶える宣言 在学中に目標とする資格を取得することができました

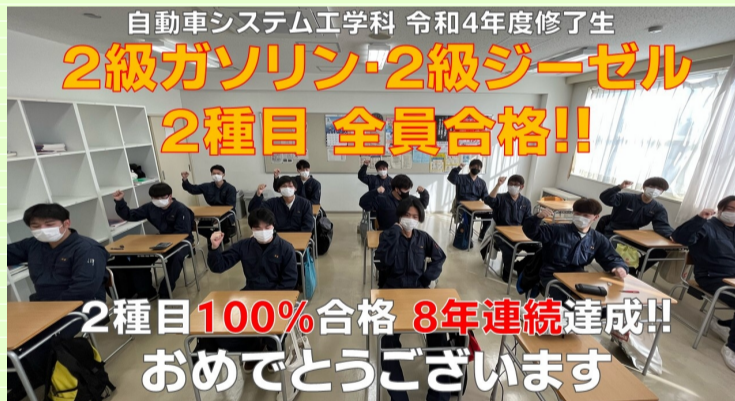
学生一人ひとりの習熟度に合わせて、段階的に無理なくステップアップする本校独自の教育訓練によって、自動車システム工学科では二級自動車整備士の合格率は、8年連続100%となっています。また、建築システム工学科では、在学中に現場監督に必要な国家試験の二級建築施工管理技士補と技能の習得レベルを評価する国家検定制度である二級建築大工技能士の資格取得に力を入れています。

自動車システム工学科(令和5年3月修了生)

「二級自動車整備士」合格率:100%
(ガソリン整備士:100%、ジーゼル整備士:100%)

建築システム工学科(令和5年3月修了生)

「二級建築大工技能士」合格率:100%
「二級建築施工管理技士補」合格率:66.6%



令和5年4月から各学科の名称とカリキュラムが変わります 自動車システム工学科から自動車整備科へ 建築システム工学科から総合建築科へ

自動車整備科の訓練基本方針

自動車整備及び故障診断ができ、整備に必要なICT機器やエーミングツール等の最新機器を活用した先端技術に対応できる高度な技能を習得するとともに、整備主任者として現場管理及び顧客折衝ができる知識・技能も兼ね備えた即戦力として期待される技能者、二級自動車整備士(ガソリン及びジーゼル)を養成します。

また、自動車整備に関連するプラスアルファの技能として、ガス溶接技能講習修了証及びアーク溶接、自由研削用といし、電気自動車等の整備業務、タイヤの空気充てん業務などの特別教育講習修了証の資格取得を目指します。

総合建築科の訓練基本方針

木造建築施工に関する知識・技能を習得させるとともに、2年次には「施工コース」「管理コース」を選択し、それぞれの専門科目を深く学び、建築技術の変化への適応性を兼ね備えた技能者を養成します。

また、就職後の技能者としてのさらなる強みとするため、技能検定制度を活用した二級建築大工技能士、二級建築施工管理技士補の取得のほか、ガス溶接・玉掛け技能講習修了証の取得、アーク溶接・低圧電気取扱いに係る特別教育、携帯用丸のこ盤などの安全衛生教育の資格取得を目指します。



モノづくりは人づくりから 地域に根差した職業能力開発校をめざして

将来のなりたい自分に出会うために… 令和5年度青森県立弘前高等技術専門校入校式を挙りました

令和5年4月12日(水)に本校の体育館で「令和5年度入校式」を挙りました。今年度から新たな学科名に変更され、学ぶ内容も新カリキュラムでスタートすることになり、自動車整備科20名、総合建築科21名、造園科12名、ライフライン設備科12名の4科を合わせて65名の新入生を迎え、自動車整備士や建築大工技能士、2級建築施工管理技士補、造園技能士、建築配管技能士などの資格取得、技能の習得を目指し、職業訓練に臨む決意を新たにしました。外崎彰校長の式辞では、「各専門分野の知識と技能を習得し、それぞれの分野でのスペシャリストとして産業を支える人材となり、信頼される技能者として就職の実現を目指して訓練に臨んでください」と激励し、その後、入校生を代表して自動車整備科の渡辺太陽さん(青森県立五所川原農林高等学校卒業)が誓いの言葉で「この先、乗り越えなければならない多くの困難が待ち受けているとは思いますが、今日、ここで出会った新たな仲間と共に助け合い力をあわせて乗り越えていきます」と宣誓しました。新入生のみなさん、入校おめでとうございませう！これからどのような訓練生活が待っているのか、期待に胸を膨らませていることと思ひます。青森県立弘前高等技術専門校での生活は、人生の中でいちばん濃い1年または2年間になると思ひます。

みなさんに与えられた環境を活用しながら、それぞれのペースで楽しいことや興味のあること、得意なことを見つけてください。みなさんの学生生活が充実したものとなるよう心から願っています。



令和5年4月14日 陸奥新報掲載



高校生のみなさんへ！ 先輩(新入生)からのメッセージ

自動車整備科1年



渡辺 太陽

青森県立五所川原農林高等学校卒業



入校後、オリエンテーションを終えて、いよいよ授業が本格的にスタートしました。初めて体験する授業内容や実習ばかりで不安もありますが、先生方から丁寧に指導してもらい、新しく出会ったクラスメイトと協力しながら楽しく取り組むことができます。まずはしっかりと基本を学び、2年間で自動車整備士として必要なスキルを身に付け、資格取得とディーラーへの就職を目標にがんばっていききたいと思います。

総合建築科1年



廣川 空良

弘前学院聖愛高等学校卒業



入校してから2週間が経ちました。この学校では経験者・未経験者に関わらず、建築について基礎からしっかりと教えてくれます。また、実践的なものづくりや校外学習もあり、自分の手や目でも学ぶことができます。最初は少し不安でしたが、毎日楽しく授業と実習を受けています。2年間はきっとあっという間に過ぎていくと思うので、同じ志を持った仲間たちと共に切磋琢磨し、自分の目標に向かってがんばっていきます。

弘前医療福祉大学短期大学部救急救命学科のみなさんにご協力いただき 心肺蘇生法、AEDの使用法、止血法などを学ぶ普通救命講習を受講しました



本校では、4月に入校した学生を対象として事故や災害発生時の人命救助に必要な応急手当に関わる知識・手順を学ぶために普通救命講習を開催しました。例年は弘前消防署の署員の方にご協力いただき講習会を実施していましたが、今年度は弘前消防署の署員の方とわが国の短期大学初となる救急救命士養成校である弘前医療福祉大学短期大学部救急救命学科3年生の8名の学生が講師となり、各班に分かれて心肺蘇生法、AEDの使い方、止血方法等について勉学の成果を活かして指導していただきました。

講習を受講した総合建築科1年の大平耀暉さんは、「実習ではノミやカンナといった刃物の取り扱いや高所での作業があり、危険と隣り合わせの実習があるので、今回の講習会では緊急時にどのような行動を取ればよいか学ぶことができました」という感想がありました。

今回ご協力いただいた弘前消防署の職員の方、弘前医療福祉大学短期大学部救急救命学科の先生方と8名の学生のみなさまにはたいへん感謝いたします。ありがとうございました。今後も同じ市内にある学校として、お互いに連携した取り組みを続けていきたいと思ひます。